

みんなが実現しよう！
持続可能な西条市

とものにつくる。

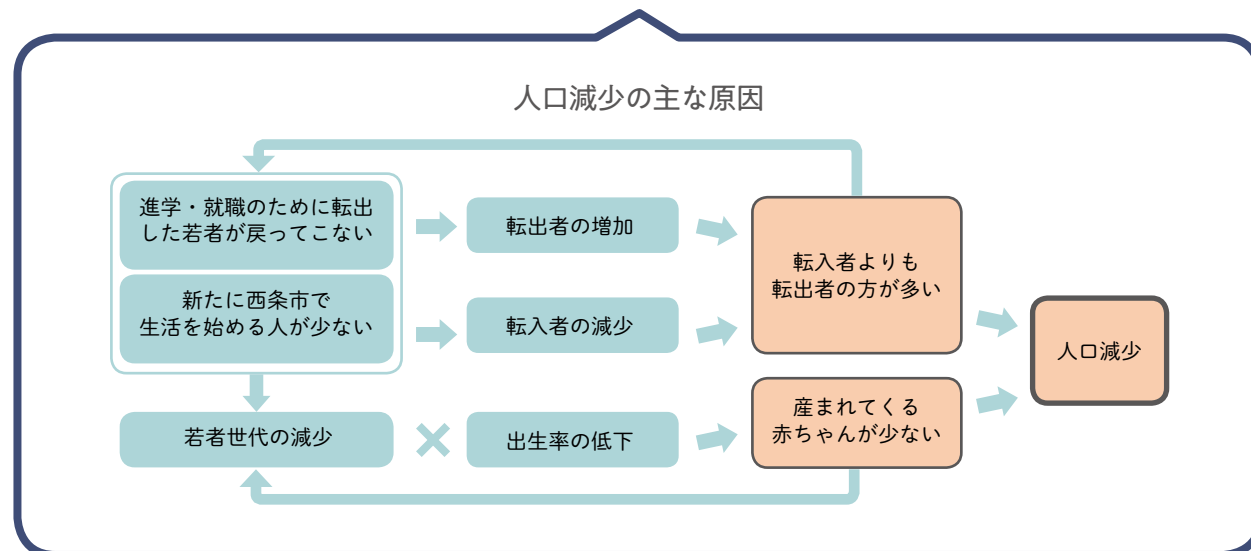
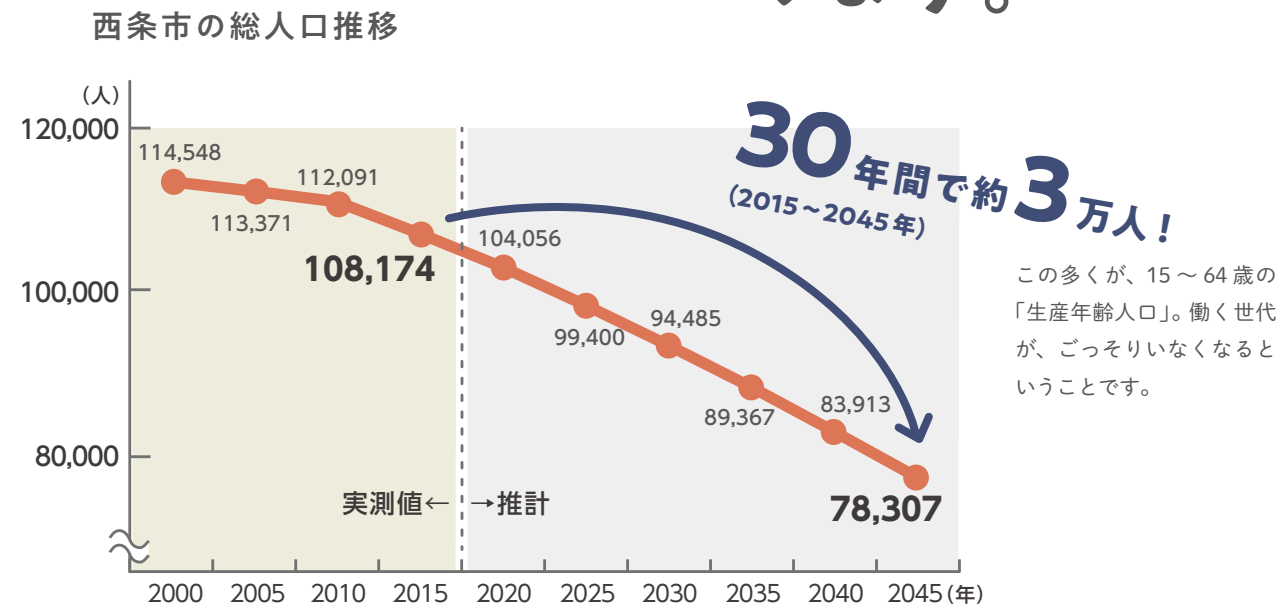
さいじょう



これは、西条市のこれからをみんなで作るための冊子です。
今の日本の将来を語るうえで欠かせない「人口」の問題は、
西条市ではどうなっているのでしょうか？

Q. まず、西条市の人口って、
本当に減るん??

A. はい。かつてないスピードで、
減りよります。



グラフの出典：2015年までは総務省「国勢調査」、
2020年～2045年は国立社会保障・人口問題研究所（社人研）

Q. 人口が減ることって、
そんなに悪いことなん??

A. 人口減少が原因で、
地域や産業の課題が増えよります。



そのほか、あなたの地域で人が減ったことによる変化や問題がありますか？

そのほか、行政にはこんな影響がおよびます。
・ 税収の減少 ・ 社会保障費の増大 ・ 公共施設の維持が困難に

「人口減少・少子高齢化」は西条市にとって最重要課題です。
そこで、2024(令和6)年度に向けてこんな目標を立てました。

みんなで実現しよう！ 持続可能な西条市

エスディー・ジーズ
西条市版 SDGsの推進

1.
健康寿命
の延伸

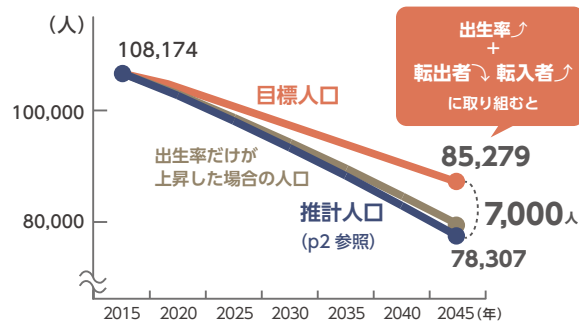
2.
働きがい
の創出・
経済活力
の維持

3.
経営感覚のある
行財政運営
の実践

1. 人口は「減る」を前提に

- ・将来の人口減少を避けることは難しい状況です。
- ・出産適齢期の女性の数が減っているため、出生率が上昇したとしても大幅な人口増加は期待できません。
- ・よって、西条市の場合は特に転入者の増加と、転出者の減少に重点を置くことが大切です。

みんなで目指す人口(2045年時点)
78,000人 ➡ **85,000人**
(推計)



2. SDGsは国際社会共通の目標

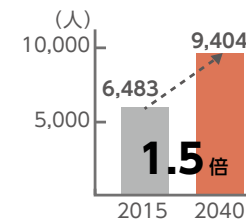
SDGsとは、2015年に国連サミットで採択された、「持続可能な開発目標」。2030年までに貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会などの諸目標を達成すべく加盟各国が取り組みます。国や自治体、企業だけが意識すべき目標ではなく、私たち一人ひとりの生活や意識の変革を必要とするものもあります。



1. 健康寿命の延伸

高齢化がすすむ中、誰もが健康で豊かな生活を送れるよう、「健康寿命の延伸」を目標にしました。

要介護認定者数が
2015 → 2040年で
1.5倍になります



このままいくと...



介護現場の人手がさらに不足



生活習慣病で若者も医療費増大

みんなで実現しよう！



年を重ねても
元気で自分らしく



世代を超えて交流し
まちづくりに参画

2. 働きがいの創出・経済活力の維持

人口が減少する中でも、地域経済をしっかりと維持していくために、
「働きがいの創出・経済活力の維持」を目標にしました。

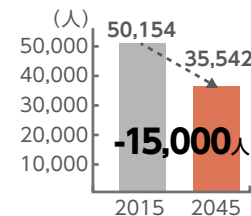
働く人※が

2015→2045年で

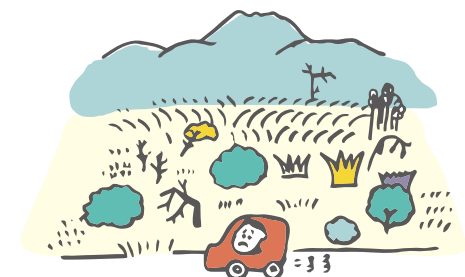
15,000人

減ります

※年齢を問わない全就業者数



このまいくと...

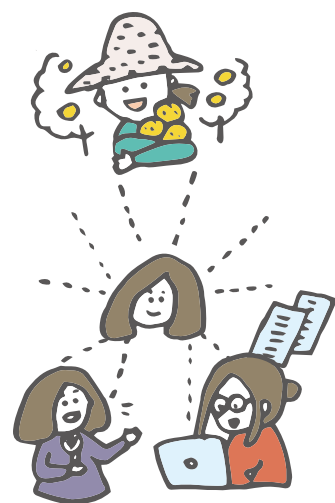


1,000haの耕作放棄地が発生
(東京ドーム 214 個分)

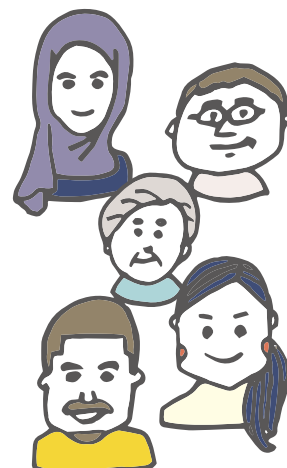


担い手不足で
事業継承が困難に

みんなで実現しよう！



1つにとらわれず
さまざまな仕事を行う



多様性ある職場

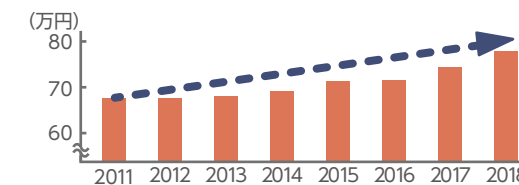


若者も事業継承に
チャレンジし
会社やお店が存続

3. 経営感覚のある行財政運営の実践

将来世代に過度な負担を残さず、持続可能な行政サービスを維持していくために、
「経営感覚のある行財政運営の実践」を目標にしました。

市民一人あたりの借金が増え続けています

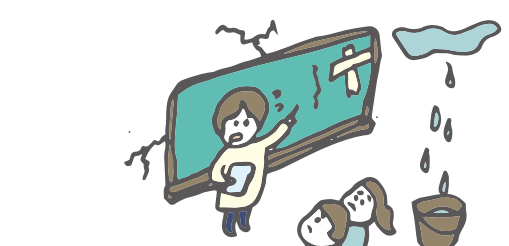


このまいくと...

救急車を呼んでも
時間がかかる



ごみ収集が
なかなかされない
(生活環境の悪化)



教育環境の悪化

みんなで実現しよう！



子どもが元気 大人も元気
まちも自然も、産業も元気な西条！

基本計画

ここからは、各分野ごとの具体的な目標を紹介します。
まちづくり市民アンケートや審議会で、市民の声を取り入れました。
一人ひとりが、まちのことに関心を持って取り組むことで、
目標の達成に近づきます。あなたは、何にチャレンジしますか？

表の見方

施策名	
みんなで実現をめざす 地域社会のイメージ	イメージ 写真
めざそう 値	まちづくり指標＝2024年に向けた目標 基準値 (2015年度) → 目標値 (2024年度)

基本目標 1
健やかに生き生きと
暮らせる
福祉のまちづくり

1. 健康づくりの推進

- ・生涯健康であり続けることのできる地域社会
- ・がんを早期に発見して治療を受け、社会復帰することができる地域社会
- ・生涯スポーツに親しみ、生き生きと生活することができる地域社会



めざそう
値 市民の健康寿命を延伸します
80.9 歳 → 82.1 歳
(2015年度)

2. 福祉の充実

- ・高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し、人生を全うすることができる地域社会
- ・高齢者や障がい者（児）とその家族を共に支え合う地域社会
- ・生活に困っている方が安心して自立した生活を送ることができる地域社会



めざそう
値 市民の福祉の充実に関する満足度を向上します
高齢者福祉 0.045 → 高齢者福祉 0.150
地域福祉 0.008 → 地域福祉 0.100
(2019年度)

3. 子育て環境の充実

- ・子どもを産み育てる幸せを実感することができる地域社会
- ・子どもを持つ親が安心して子育てすることができる地域社会
- ・妊娠期から子育て期にかけて子どもと母親の健康が守られる地域社会



めざそう
値 子育て支援サービスの満足度を向上します
10.2 % → 25.9 %
(2018年度)

4. 医療体制の充実

- ・将来にわたり質の高い医療サービスを適切に受けることができる地域社会
- ・安心して速やかに必要な医療を受け続けることができる地域社会



めざそう
値 人口1万人あたりの医師数を増加します
17.5 人 → 19.1 人
(2018年度)

基本目標 2
豊かな自然と
共生する
まちづくり

2. 水資源の保全

- ・うちぬき文化を未来へつなぐ地域社会
- ・市民共有の財産である地下水をすべての市民が利用できる地域社会
- ・行政のみならず市民や事業者が一体となって地下水を保全する地域社会



めざそう
値 市民1人ひとりの水使用量を抑制します
298 m³/日 → 284 m³/日
(2018年度)

4. 環境資源を活かした地域づくり

- ・温室効果ガスの排出削減に取り組み環境負荷の少ない地域社会
- ・豊かな自然環境を次世代へ引き継いでいく地域社会



めざそう
値 市民の環境資源を活かした地域づくりに関する関心度を向上します
1.322 → 1.500
(2019年度)

5. 上下水道の整備（B. 下水道）

- ・水洗トイレが使える清潔で快適な住みよい地域社会
- ・まちの川や海の水質がきれいな環境の地域社会
- ・浸水に強く安心して暮らせる地域社会



めざそう
値 住みやすいと回答する市民の割合を向上します
38.5 % → 60.0 %
(2019年度)

1. 自然環境の保全

- ・生物多様性を保全する地域社会
- ・豊かな自然環境を持続可能な形で利用する地域社会
- ・豊かな自然環境を次世代へ引き継いでいく地域社会



めざそう
値 市民の自然環境の保全に関する関心度を向上します
1.197 → 1.500
(2019年度)

3. 生活環境の整備

- ・3R（リデュース・リユース・リサイクル）を促進し、循環型社会の形成を目指す地域社会
- ・水洗トイレが使える清潔で快適な住みよい地域社会
- ・まちの川や海の水質がきれいな環境の地域社会



めざそう
値 住みやすいと回答する市民の割合を向上します
38.5 % → 60.0 %
(2019年度)

5. 上下水道の整備（A. 上水道）

- ・安心して安全でおいしい水が飲める住みやすい地域社会
- ・どんなときも水を利用することができる安心して暮らせる地域社会
- ・将来も変わらず安定して水が供給される環境が整った地域社会



めざそう
値 住みやすいと回答する市民の割合を向上します
38.5 % → 60.0 %
(2019年度)



基本目標 3

快適な都市基盤の まちづくり

2. 市街地整備

- ・快適な都市空間を実感することができる地域社会
- ・都市機能を持続的に確保することができる地域社会



めざそう
値

住みやすいと回答する市民の割合を向上します

38.5 % → **60.0 %**
(2019年度)

4. 公園・緑地の整備

- ・市民とともに緑地の保全・緑化の推進に取り組む地域社会
- ・レクリエーション活動・健康運動・防災減災などの拠点となる公園のある地域社会
- ・市民が快適に過ごせる公園が身近にある地域社会



めざそう
値

住みやすいと回答する市民の割合を向上します

38.5 % → **60.0 %**
(2019年度)

基本目標 4

災害に強く 安全で安心して 暮らせるまちづくり

1. 交通体系の整備

- ・誰もが安全で快適に移動することができる地域社会
- ・良好な都市景観に配慮した道路のある地域社会
- ・防災・減災に配慮した道路のある地域社会



めざそう
値

住みやすいと回答する市民の割合を向上します

38.5 % → **60.0 %**
(2019年度)

3. 港湾・河川の整備

- ・市民の暮らしを支えている港を身近に感じることができる地域社会
- ・人や物の流れから活気のある暮らしを実感することができる地域社会



めざそう
値

住みやすいと回答する市民の割合を向上します

38.5 % → **60.0 %**
(2019年度)

5. 住宅・宅地の整備

- ・安全・安心な生活を実感できる地域社会
- ・快適な日常生活を実感できる地域社会
- ・住宅に困窮する市民が安心して暮らせる地域社会



めざそう
値

住みやすいと回答する市民の割合を向上します

38.5 % → **60.0 %**
(2019年度)

1. 防災・減災対策の強化

- ・災害に強い安全・安心な地域社会
- ・火災や救急・救助体制の整った安全・安心な地域社会
- ・市民みんなが助け合い、災害に立ち向かうことができる地域社会



めざそう
値

西条市が安全・安心だと思う市民の割合を向上します〈防災体制の強化に関する満足度〉

0.303 (2019年度) → **0.373**

2. 防犯対策の推進

- ・犯罪のない安全・安心に暮らせる地域社会
- ・市民が自立した消費者として安全・安心に暮らせる地域社会



めざそう
値

西条市が安全・安心だと思う市民の割合を向上します〈防犯対策の推進に関する満足度〉

0.271 (2019年度) → **0.372**

3. 交通安全対策の推進

- ・交通事故のない安全・安心に暮らせる地域社会



めざそう
値

西条市が安全・安心だと思う市民の割合を向上します〈交通安全対策の推進に関する満足度〉

0.293 (2019年度) → **0.393**

1. 学校教育の充実

- ・安全・安心で充実した教育環境を提供できる学校
- ・「ともにづくり、みんなが育つ学校」の創造を推進し一人ひとりの子どもを大切にすることができる学校
- ・知・徳・体のバランスのとれた子どもを育成する学校



めざそう
値

市民の学校教育の充実に関する満足度を向上します

0.583 (2019年度) → **0.600**

3. 歴史文化の保全・活用

- ・市民共有の財産として文化財を次世代に継承していく地域社会
- ・文化財を保存・活用し風土や文化を生かしたまちづくりに取り組む地域社会
- ・市民が郷土の先人たちの優れた業績に触れることができる地域社会



めざそう
値

市民の歴史文化の保全・活用に関する関心度を向上します

0.715 (2019年度) → **1.000**

2. 地域文化の継承・形成

- ・ふるさとを愛し地域の伝統文化を継承する地域社会
- ・市民が身近に文化芸術活動へ参加できる地域社会
- ・地域の特徴を尊重しながら新たな地域文化を形成することができる地域社会



めざそう
値

市民の地域文化の継承・形成に関する関心度を向上します

0.833 (2019年度) → **1.000**

4. 社会教育の充実

- ・生涯学習を通じて得た知識や能力を地域づくりに生かすことができる地域社会
- ・学校・家庭・地域が連携・協働し心豊かでたくましい子どもたちを育てる地域社会
- ・公民館を拠点として地域課題の解決や地域ネットワークの強化に取り組む地域社会



めざそう
値

生涯学習を通して地域課題の解決に取り組んでいる市民の割合を向上します〈社会教育の充実に関する関心度〉

0.975 (2019年度) → **1.190**

5. 人権・同和教育の推進

- ・市民総ぐるみの人権・同和教育の推進を図ることができる地域社会
- ・日常的な人権感覚が十分に身につく、より実践的な学習を行う地域社会
- ・様々な人権問題に取り組みながら、部落差別の解消に向かう地域社会



めざそう
値

市民の人権・同和教育の推進に関する関心度を向上します

0.428 (2019年度) → **0.500**

基本目標 6

活力あふれる 産業振興のまちづくり

2. 林業の振興

- ・森林資源の循環利用が図られ、未来の森が育まれる地域社会
- ・意欲と能力のある林業経営者が持続的に活躍できる地域社会
- ・森林の持つ多面的機能が発揮され、良質な水資源を持続的に確保できる地域社会



めざそう
値
林業産出額を増加します
2億2,900万円 → **3億3,000**万円
(2018年度)

4. 企業活動の活性化(ものづくり産業の振興)

- ・優れた立地環境を活かし、企業の成長が描ける地域社会
- ・企業が積極的に設備投資を行い、生産活動が活性化する地域社会
- ・ものづくり中小企業が新たな事業にチャレンジしやすい地域社会



めざそう
値
製造品出荷額等を維持します
8,251 億円 → **8,251** 億円
(2017年度)

6. 新規産業の創出

- ・夢の実現に向け、起業にチャレンジしやすい地域社会
- ・活発な異業種連携により、イノベーションが創発される地域社会
- ・西条ブランドを発信する地域社会



めざそう
値
市内総生産を維持します
3,659 億円 → **3,659** 億円
(2016年度)

1. 農業の振興

- ・若者が農業の未来に夢を持てる地域社会
- ・安心安全な農作物が地域で産出されることに幸せを感じられる地域社会
- ・儲ける農業を目指せる環境と豊かな農村環境が持続される地域社会



めざそう
値
農家所得を向上します (1,000万円以上販売する経営体の数を増加)
106 件 → **126** 件
(2015年度)

3. 水産業の振興

- ・若者が漁業の未来に夢を持てる地域社会
- ・安心安全な水産物が地域で産出されることに幸せを感じられる地域社会
- ・儲ける漁業を目指せる環境と豊かな水産環境が持続される地域社会



めざそう
値
漁業者所得を向上します (1経営体あたりの所得を増加)
998 万円 → **1,000** 万円
(2017年度)

5. 商業の振興

- ・魅力的な店舗が集まり、歩いて回れる商業エリアがある地域社会
- ・新規出店などチャレンジしやすい環境のある地域社会
- ・様々な方法で食料品や日用品を購入することのできる地域社会



めざそう
値
小売、卸売、サービス業の売上を維持します
4,042 億円 → **4,042** 億円
(2015年度)

7. 観光産業の創出

- ・賑わいと交流が生まれ、住む人々に潤いを与える地域社会
- ・国内外に住む人が「行ってみたい」と思える地域社会
- ・訪れた観光客が「来てよかった、また来たい」と思える地域社会



めざそう
値
観光消費額を増加します
65億7,616 万円 → **69億497** 万円
(2018年度)

8. 産業人材・雇用環境

- ・地域で育った人材が能力を存分に発揮することができる地域社会
- ・若者、女性、高齢者、障がい者など、誰もがいきいきと働ける地域社会
- ・健康で長く働き続けられる仕事がある地域社会



めざそう
値
就業者数を維持します
51,081 人 → **51,081** 人
(2015年度)

9. 西条の価値や魅力の向上 (まちのブランド化)

- ・子どもたちが「ずっと住み続けたい」と思える魅力ある地域社会
- ・市外・県外に住む人が「行ってみたい、住んでみたい」と思える地域社会
- ・住む人が「住んでよかった」と実感することができる地域社会



めざそう
値
社会増減 (転入一転出) 率を上昇します
0.0 % → **0.1** %
(2019年度)

構想の 実現に向けて

2. 地域コミュニティ活動の促進

- ・世代・性別・立場を超えて市民が活躍できる地域社会
- ・市民一人ひとりの意見を尊重し、話し合いを大切にする地域社会
- ・市民自ら地域課題の解決に向けて主体的に取り組む地域社会



4. 経営感覚のある行財政運営の実践

- ・業務改善や民間活力の活用などによる効率的かつ効果的な行財政運営
- ・財政健全化による持続可能な行財政運営



3. 時代の変化に対応した地域づくり

- ・知識と経験豊かな人材が育つ地域社会
- ・市民一人ひとりが性別に関係なく、個性と能力を発揮することができる地域社会
- ・様々な国の人々がお互いを理解し、共生することができる地域社会



5. 行政情報の運用

- ・効率的な情報システムの運用により、市民サービスが公平に行き渡る地域社会
- ・ICTを活用した利便性と質の高い市民サービスを実感できる地域社会
- ・市民と行政のパートナーシップに基づく対話や情報共有による開かれた地域社会

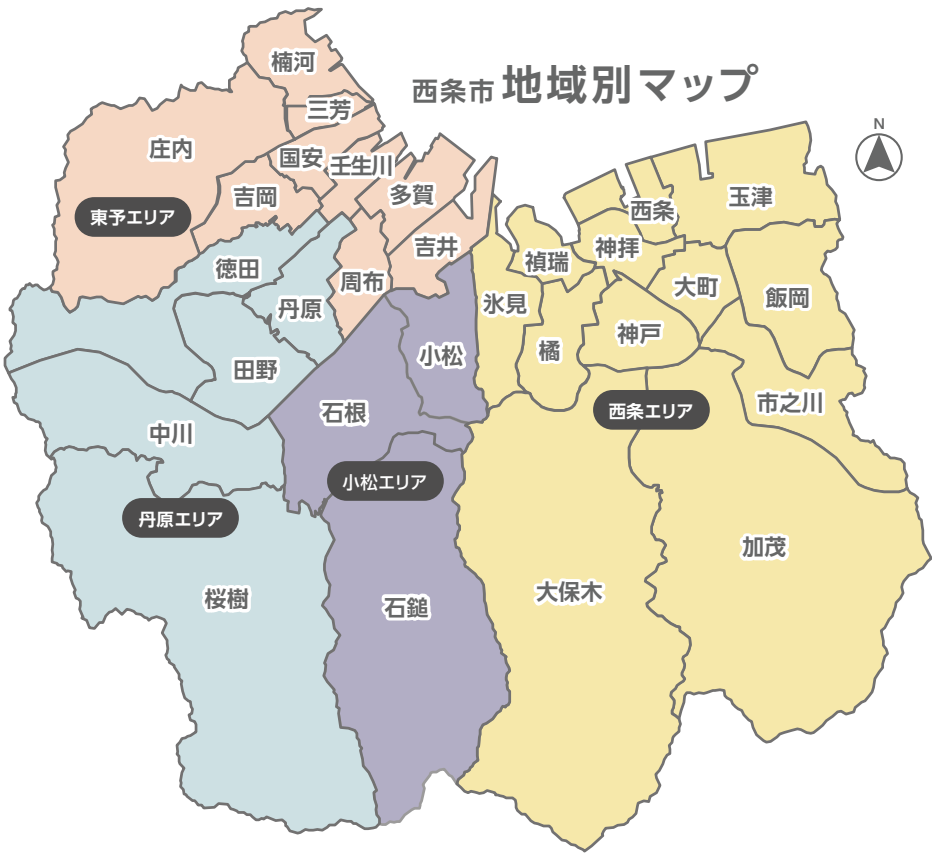


わたしの地域はどうなる？

下の表は、小学校区別の人口・児童数の推移です。

お住まいの地域はいかがでしょうか。
冊子の冒頭で、「西条市全体、30年間で約3万人の減少」とお伝えしましたが、地域別に見ると、より将来がイメージしやすいかもしれません。

人口減少を受け、今後どんな未来をつくり残すかは、私たち一人ひとりにかかっています。



小学校区別人口・児童数の変化（2010～2045年）

		2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	増減
玉津	校区人口	9,140	9,473	9,720	9,892	10,000	10,070	10,088	10,002	+862
	児童数	536	514	509	502	504	499	485	486	-50
飯岡	校区人口	6,314	6,190	6,002	5,683	5,372	5,089	4,788	4,449	-1,865
	児童数	304	343	326	283	226	184	197	206	-98
西条	校区人口	7,881	7,697	7,573	7,546	7,514	7,390	7,104	6,787	-1,094
	児童数	602	527	413	409	448	461	429	355	-247
神拝	校区人口	14,273	13,652	12,989	12,394	11,820	11,117	10,298	9,408	-4,865
	児童数	935	823	653	538	503	505	474	388	-547
大町	校区人口	10,466	10,052	9,638	9,100	8,482	7,971	7,509	6,984	-3,482
	児童数	575	575	557	500	454	391	366	369	-206
神戸	校区人口	3,669	3,490	3,304	3,101	2,886	2,669	2,475	2,311	-1,358
	児童数	206	192	188	176	150	131	115	116	-90
禎瑞	校区人口	1,430	1,411	1,377	1,298	1,210	1,121	1,060	1,005	-425
	児童数	71	80	86	78	55	40	41	46	-25
橘	校区人口	1,989	1,937	1,857	1,768	1,670	1,568	1,466	1,361	-628
	児童数	111	108	101	83	67	56	51	50	-61
氷見	校区人口	4,113	3,899	3,653	3,391	3,134	2,870	2,597	2,338	-1,775
	児童数	217	181	156	134	102	78	67	60	-157

思い出してみよう！

私が.....のころ、.....年頃、.....の人数は.....人くらいだった。

想像してみよう！

人口や児童数がこのように減ると、どんな変化が起こるでしょうか。

		2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	増減
周布	校区人口	3,601	3,475	3,357	3,198	3,018	2,830	2,635	2,395	-1,206
	児童数	194	179	159	143	128	104	88	77	-117
吉井	校区人口	2,422	2,347	2,273	2,163	2,027	1,882	1,777	1,709	-713
	児童数	111	111	131	154	119	89	89	101	-10
多賀	校区人口	5,125	5,093	5,032	4,962	4,878	4,745	4,572	4,392	-733
	児童数	314	287	248	223	194	174	156	137	-177
壬生川	校区人口	5,597	5,394	5,158	4,908	4,626	4,329	4,013	3,709	-1,888
	児童数	309	284	260	246	226	201	175	155	-154
国安	校区人口	4,340	4,175	3,993	3,783	3,571	3,373	3,164	2,971	-1,369
	児童数	218	191	187	163	151	142	128	123	-95
吉岡	校区人口	2,306	2,298	2,312	2,303	2,273	2,220	2,164	2,126	-180
	児童数	147	128	131	141	130	106	92	87	-60
楠河	校区人口	3,121	2,897	2,672	2,439	2,188	1,941	1,688	1,458	-1,663
	児童数	129	105	97	88	70	61	55	47	-82
三芳	校区人口	2,287	2,143	1,981	1,813	1,661	1,499	1,326	1,151	-1,136
	児童数	137	113	86	74	68	67	61	42	-95
庄内	校区人口	2,229	2,067	1,895	1,711	1,492	1,308	1,130	989	-1,240
	児童数	102	92	84	64	44	30	25	23	-79
丹原	校区人口	5,403	5,322	5,173	5,022	4,848	4,643	4,412	4,136	-1,267
	児童数	323	281	254	239	233	230	206	181	-142
徳田	校区人口	1,572	1,516	1,477	1,386	1,305	1,191	1,096	981	-591
	児童数	72	64	61	70	59	38	29	28	-44
田野	校区人口	2,346	2,186	2,023	1,855	1,701	1,536	1,369	1,192	-1,154
	児童数	122	101	77	68	61	53	44	35	-87
中川	校区人口	2,915	2,608	2,310	2,001	1,739	1,501	1,275	1,082	-1,833
	児童数	124	116	85	63	46	32	29	25	-99
田滝	校区人口	281	244	212	174	143	114	94	79	-202
	児童数	7	11	11	5	4	1	1	2	-5
小松	校区人口	6,192	5,935	5,641	5,284	4,905	4,572	4,205	3,886	-2,306
	児童数	345	340	306	266	235	197	187	175	-170
石根	校区人口	2,851	2,635	2,435	2,226	2,026	1,815	1,607	1,411	-1,440
	児童数	111	91	98	82	61	47	34	29	-82

※データ処理の都合上、小学校が現存する校区を基準として算出しています ※国勢調査データから算出していますので、住民基本台帳データと異なります
※算出方法の都合上、住民基本台帳データとの乖離が大きくなっている校区があります

おわりに：市長メッセージ

将来世代へバトンタッチ！

みんなで持続可能な西条市を実現しよう！

少子高齢化と人口減少の進行に歯止めをかけることを目的とする「まち・ひと・しごと創生法」が平成 26（2014）年 11 月に制定されてから早や 5 年が経過しました。しかし、未だ多くの自治体で具体的な解決策が見つからないのが実情です。人口減少による負の影響は、「静かなる危機」として刻一刻と日々進行しています。持続可能なまちづくりを行うためには、**市民の皆さまと西条市の未来に対する危機意識を共有するとともに、具体的な対策に向けて協働で取り組んでいくことが大切です。**

このたび、「第 2 期西条市総合計画」を構成する基本計画と「西条市まち・ひと・しごと 創生総合戦略」が見直し時期となることから、両計画を「第 2 期西条市総合計画後期基本計画（第 2 期西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略）」として一体的に策定しました。

計画策定にあたっては、直面する人口減少の危機を市民の皆さまに実感していただくことを目的に、西条市が将来的に直面する未来予想の結果を公開することとしました。とても厳しい未来予想となりましたが、**多くの市民の皆さまとこの危機意識を共有したうえで、持続可能な西条市の実現に向けた計画を策定することができました。**

「みんなで実現しよう！ 持続可能な西条市」という目標の達成に向けて、今後とも市民の皆さまと足並みを揃え、将来都市像である「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現を目指してまいりたいと考えておりますので、今後とも皆さまの一層のご協力、お力添えをお願いいたします。



西条市長

玉井 敬久

第 2 期西条市総合計画 後期基本計画

第 2 期 西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和 2 年度～ 6 年度

令和 2 年 3 月発行

お問合せ先

西条市 経営戦略部 政策企画課

〒 793-8601 愛媛県西条市明屋敷 164

Akeyashiki 164, Saijo, Ehime 793-8601

☎ 0897-56-5151 FAX 0897-52-1200

<https://www.city.saijo.ehime.jp/>

第 2 期西条市総合計画 後期基本計画
について 詳しくはこちら

